

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年6月16日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 6月 水無月 第7号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

今年度も、6月8日～23日の3週間、教育実習生をむかえています

大学生ではありますが、学校の先生として教壇に立っています。おふたりとも本校の卒業生ですから、ともに学び、成長し、絶対に先生になりたいと思ってもらえるよう、全職員・生徒のみなさんと協力しているところです。教師という職業の魅力は、何といても、子どもの人間形成に深く関わることができることです。生徒の成長を身近で感じられたり、仕事を通して様々なこどもと関わり、教師も子どもとともに日々成長したり、喜怒哀楽や感動を分かち合えることができることにも魅力を感じます。だからこそ、『一期一会』人との出逢いを大切にして、そこからの学びを成長のエネルギーにしてほしいと考えます。みなさんの担任や学年の先生、顧問の先生にも、この仕事の魅力についてうかがってみてください。教育実習生にインタビューしましたので、紹介します。

【2年2組 英語科 奥山先生】



初日の荒中生の印象は？

「あいさつがしっかりできる。明るく元気。礼儀正しく、目を見て話を聞いてくれる。」

なぜ教師を目指しているの？「こどもが好き。人に勉強を教えるのが好き。教師はこどもの成長に直接関わることができる、貴重で、やりがいのある職業だと思っています。」

中学生の時にやっておくと良いと思うことは？「勉強。授業をちゃんと聞きわからないところは、質問する。部活動。友達と仲良くする。先生といっぱい話す。」

【3年4組 社会科 横山先生】



初日の荒中生の印象は？

「元気にあいさつしてくれる生徒が多く、授業や部活動に積極的に取り組んでいる印象です。」

なぜ教師を目指しているの？「人の人生において影響が大きいと思われるこの学校生活で自分が先生に良い影響を与えていただいたので、次の世代にも自分と同じような良い経験をしてもらいたいとかんがえたからです。」

中学生の時にやっておくと良いと思うことは？「やはり勉強。今、自分が昔に戻れるなら小・中学生のうちから勉強をしたいと思うほど後悔をしています。なぜなら、自分の選択肢を狭めることになったからです。今なら間に合うので、少しでも、1教科でも頑張ってみてください。」